

大分市立下郡小学校 学力向上プラン

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各学年に応じた話す力・聞く力が少しずつ定着してきた。 ○読解力の週末課題により少しずつ力がついてきている。 ○昨年度課題であった漢字の力がつきつもある。 ▲「書くこと」、「書く能力」が他の観点に比べて低い。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業での学習活動に「ペアトーク」を意図的に取り入れた。自分の考えと友だちの考えを比較しながら聴いたり、話したりする活動に慣れてきている。今後も継続していきたい。 ○読解力については、全学年正答率80%を超えることができた。今後も週末課題として位置付けて取り組んでいきたい。 ○のびっこタイム(国語), ぐんぐんタイム(算数)計画的に実施することができた。今後も朝の活動の効果的な活用を行っていきたい。 ▲「書くこと」、「書く能力」については、授業中の作文指導や日記指導を通して、文の作り方等を指導していく。
めざす児童生徒像	<p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「数学的な考え方」の力をつけるため、週末課題に文章題を取り入れた。 ▲活用する力については、課題がある。 	<p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○週末課題に文章題を多く取り入れ、取り組ませたため、問題を解ける子どもが多くなっている。また、授業でも自分の考えを発表できる子が増えてきている。 ▲活用する力については、二極化の傾向が見られるため、授業の工夫改善を更にしていく必要がある。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上・自ら進んで学習に取り組む子・4教科(国, 社, 算, 理)における「思考」の達成率80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上・自ら進んで学習に取り組む子・4教科(国, 社, 算, 理)における「思考」の達成率80%以上にする。
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○学力の基礎を培うため、充実したスキルタイムを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・のびっこタイム(国語～漢字を中心に)や、ぐんぐんタイム(算数～計算を中心に)を、効果的に活用する。(学力向上担当を中心とした取組を進める) ○算数の少人数指導(TT指導, 習熟度別指導)を効果的に実践する。 <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとのプレテストを実施し、児童のつまずきを発見する。 ・授業において、少人数指導を行ったり、つまずきの見られる児童の個別指導にあたる。 ・「めあて」と「振り返り」のある授業、「課題」と「まとめ」のある授業、生徒指導の3機能を生かした授業を行う。 ・単元末に個に応じたコース別学習を実施する。 ○家庭学習を確実に定着させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・PTAの会議やホームページ等で、「学年×10分+10分」を呼びかける。 ・担任が毎日確認すると共に、家庭に協力を求める。 ・週末読書の取り組みを進める。 ○学習規律の徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・始業前、あいさつ、話の聞き方、話の仕方に取り組む。 ・全クラスで、忘れ物Oをめざす取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ボランティアによる、2, 3年生の放課後学習「学びの広場」を継続し、地域の人材を生かし学習の場を充実させる。 ○家庭学習の手引を各家庭に配布し、家庭学習の定着に向けて保護者の協力を呼びかける。